

# 平成30年度和歌山県学習到達度調査結果 (H30.10.17実施)

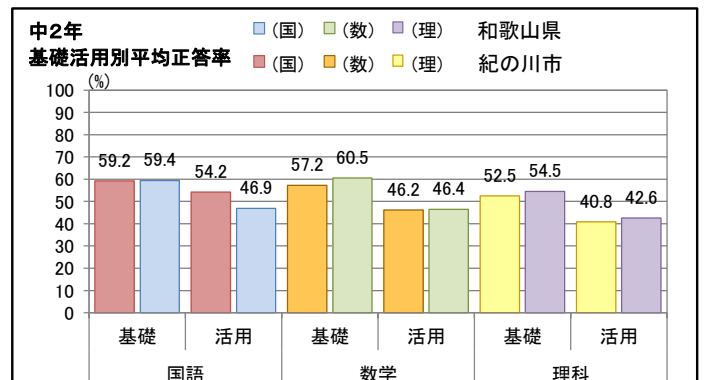
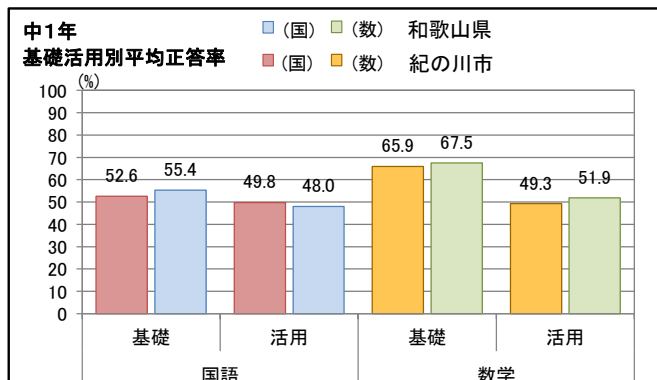
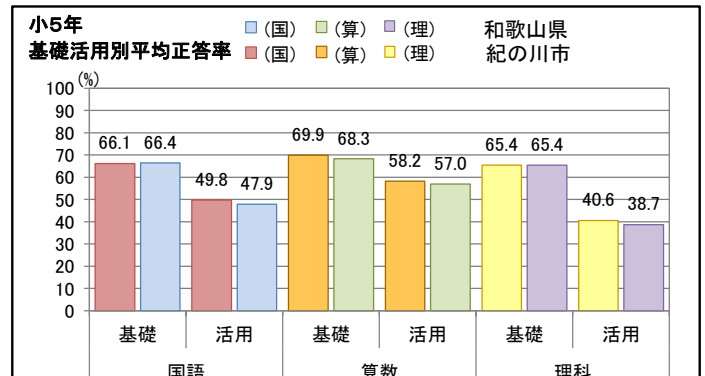
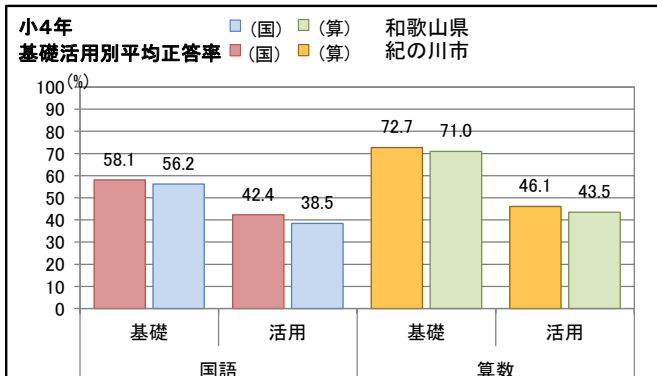
平成31年1月公表

## 教科別平均正答率

	平均正答率 (%)					平均正答率 (%)				
	小4年		小5年			中1年		中2年		
	国語	算数	国語	算数	理科	国語	数学	国語	数学	理科
和歌山県	52.7	64.6	63.7	65.7	60.1	53.9	63.9	56.9	57.2	50.9
紀の川市	55.0	66.5	63.7	67.2	60.4	52.0	62.0	58.2	54.7	49.0
県比	2.3	1.9	0.0	1.5	0.3	(1.9)	(1.9)	1.3	(2.5)	(1.9)

※県平均を下回るものは、色を付けています。

## 基礎活用別平均正答率



## 調査結果より

小学生では、両学年とも平均正答率が県平均より高く、各教科の基礎的・活用的問題において概ね学力の定着が図れているといえます。

一方、中学生は、2年生の国語以外は県平均をやや下回っています。数学では、基礎・活用ともに県平均をやや下回り、特に資料の活用に課題があります。理科においても、基礎・活用ともに県平均をやや下回り、特に科学的な思考・表現に課題が見られます。

今後は定着率の低かった課題・領域について、学習内容を定着させて進級できるように授業改善・補充学習を充実させる必要があります。また、各学校での取組を共有することで、市全体の学力向上につながるよう努めてまいります。ご家庭におかれましても、学習した内容の定着を図るための復習などの家庭学習や、文章に慣れ親しみ、想像力や関係把握力の素地になる読書習慣を身に付けられるようご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。